

今年も、みなさまと、地域の、そして区政の問題解決に、邁進します!

新春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素の暖かいご支援ご指導につきまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

さて、民主党政権になり早 2 年であります。鳩山政権から菅政権に移り、無策の上に更に上塗りするかの様に各閣僚の失言が相次ぎ、問責決議まで出される始末でありました。本来やるべき諸施策のほとんどが空回りし、廃案に追い込まれてしまったのであります。

今後、国の運営は益々財源とともに内外で発生している大きな課題も整理できず、ますます厳しい日本の状況となってまいりました。また、株安、ドル高などもあいまつて、日本経済の先行きも増大しております。

一方、練馬区は、このような内外の厳しい経済情勢に直面しながらも、これまで取り組んできた行政改革によって、行政のスリム化と効率的な財政運営を進め、健全な区政運営を維持しております。

しかしながら、今後は、区財政も厳しくなり、区税などが大幅に減収することと思われませんが、私は、今こそ、積極的な予算編成を提言するとともに、区政発展のため、全力を傾注してまいります。

とりわけ、区内中小事業者への景気対策、子育て支援、まちづくりや教育の充実などの山積する課題解決に積極的に取り組む、皆さまの期待に応えてまいります。

平成 23 年の年頭にあたり、皆さまの「健勝と幸せ」を祈念し、私の決意を申し上げます。どうか今年も更なるご支援ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。



練馬区議会議員 第五十九代議長

関口かずお

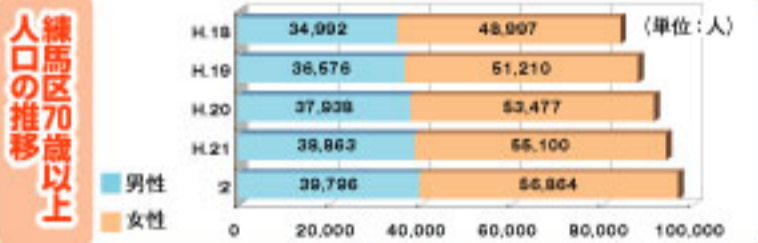


新年を迎えて

- 常任委員会 健康福祉委員会 委員
- 特別委員会 総合計画等 特別委員会 委員
- 各種委員会 民生委員推薦会
美術館運営協議会

ご相談は… 関口かずお 事務所
〒176-0021 練馬区貫井 3-53-8
Tel / Fax : 3998-1752

元気な高齢者が これからの練馬区を支えます!



70万区民の14%が70歳以上となり練馬区もいよいよ本格的な高齢化社会を迎えています。何歳になっても、元気な高齢者が活躍することが未来の練馬区を支える原動力です!



練馬区では・・・
 居宅サービス利用者数 **15,285人**
 デイサービス利用者数 **5,581人**
 特別養護老人ホーム利用者数 **1,711人**
 となっています(平成22年10月時点)
 必要になったら、介護サービスを積極的に活用して介護する側もされる側も、明るく、暮らしやすい毎日を!



ご存知ですか?

練馬区の保育園入所児童数 約8,200人(平成21年度、0~5歳児)
 児童一人当たりの公費負担額 約212万円(平成21年度、年額)
 この数値に基づいて計算すると・・・
 年間約**173億円**を、保育所の運営に投入していることになります

特に・・・
 0歳児一人当たりの保育経費は
 月額約**46万円**(年額約**552万円**)、
 区立保育園に在籍する0歳児**655人**分だけで
 年間約**36億円**(平成21年度)になります



待機児童の問題がクローズアップされ、保育所増設の機運が盛り上がっていますが、当然、保育園の運営には経費がかかります。区立保育園の場合、運営費の大部分が税金でまかなわれているのも事実です。もちろん、家庭の事情や経済的な理由から保育園を利用せざるを得ない家庭もあります。そこで・・・

区から、年齢や家庭状況にあわせた育児助成を実施することを提案します!

例えば・・・
 平均的な育児費(ミルクやオムツなど)は月額約**2万円**
 30代女性の平均月収は約**25万円**
 この7割で月額約**18万円**と計算し
 0歳児一人当たり月額約**20万円**の公費助成を実施します。

この制度を利用して、
 現在保育園を利用している0歳児児童約655人のうち約半数の300人が、
 家庭での子育てに切り替えたとすると・・・
 現在のまま：**655人 × 552万円 = 約36億1千万円**(年額)
 助成を実施：
355人 × 552万円 + 300人 × 240万円 = 約26億8千万円(年額)
 このように約**9億円**の経費を圧縮し、
 他の政策に投入できるだけでなく、
 自らの手で子育てできる家庭を増やすことができます。

幼児は肌を離すな!
 児童は手を離すな!
 少年は心を離すな!

家庭の中で、
 親がしっかり
 わが子の育児に
 専念できる
 社会の実現を!

